

21世紀COE

「京都大学化学連携研究教育拠点」

化学研究所・有機化学セミナー



講師

Prof. Reinhard Schmutzler

(Institut für Anorganische und Analytische Chemie,
Technische Universität Braunschweig, Germany)



演題

Oxidative Addition and Insertion Reactions of Hexafluoroacetone
and Perfluorinated 1,2-Diketones to Compounds of Low-valent
Phosphorus---New Modes of Addition and Unusual Products



日時

平成16年3月25日 (木) 15:30~17:30



場所

化学研究所 5階 中会議室

この度、本年度最後の21世紀COE「京都大学化学連携研究教育拠点」の招聘外国人研究者として来日されますブラウンシュバイク工科大学（ドイツ、ブラウンシュバイク）のReinhard Schmutzler教授の化学研究所での講演会を標記の通りの要領で開催することとなりました。

Schmutzler教授は、有機リン化学、有機フッ素化学の分野で多大の研究業績を挙げておられる著名な化学者であります。最近では、カリックスアレーンやカリックスレゾルシナレーンなど構造化学的にも物性化学的にも興味深い化合物群にリン官能基を導入した新規分子の合成とその構造・性質の解明などを精力的に研究されておられます。今回の来日では、化学研究所訪問の翌日（3月26日）より関西学院大学にて開催されます日本化学会第84春季年会におきましても「Organophosphorus Chemistry in the Periphery of Calixarenes」という題目で外国人特別講演をされる予定です。そこで化学研究所におきましては、別の視点から先生のお仕事を紹介して頂きたいと考えまして、標記のような題目でリン化学とフッ素化学の両面からのご講演をお願いすることにしました。

皆様には、年度末のお忙しい時期かとは思いますが、せっかくの機会ですので、是非お誘い合わせの上多数の後來聴をお願い致します。



連絡先

玉尾 皓平 小松 紘一
小澤 文幸 時任 宣博 (内線3200)